

しろうしりつ かのしょうがっこう 宍粟市立神野小学校の先生と 防災（水災害）の授業について一緒に考えました！

— 姫路河川国道事務所 —

揖保川減災対策協議会では、揖保川の大規模氾濫を想定した地域住民の意識向上を図るため、防災教育の充実について取り組んでいます。

このたび、揖保川近くに立地する宍粟市立神野小学校で平成30年度に防災授業の実施を検討いただくこととなり、使用する資料や授業の実施計画などについて校長先生をはじめ、教頭先生や5年生担任の先生から意見をいただきました。

概要

対象河川：揖保川水系揖保川

○日時：平成30年 3月13日（火） 15:30～16:30

○場所：宍粟市立神野小学校

○参加者：宍粟市立 神野小学校 校長先生、教頭先生、5年生担当の先生
姫路河川国道事務所 調査課



洪水②【学習指導案】

洪水 ② 災害のメカニズム、宍粟市の災害対策

学習のねらい	洪水災害の種類と対策について知る		
	Step1：洪水災害の種類とその特徴について知る Step2：洪水災害の対策について知る Step3：災害が発生する前にできることを考える		
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> 説明用パワーポイント【洪水②】 <input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> ワークシート【洪水②】 <input type="checkbox"/> レーザーポインター（もしくは差し棒）		
学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(★) 評価(☆)
学習の項目 1分			
導入 計6分			
1.大雨時に起こることを復習する			
1-① 大雨が降ると、どんな災害が起きるのかを考えさせる。	2-3	● 大雨が降ると、どんな災害が起きますか？ ・ 洪水災害 ・ 土砂災害	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
1-② 洪水災害について復習する。	4-5	● 今日洪水災害について詳しく勉強しましょう。 ● 洪水災害とはどのような災害でしょうか？ ・ 大雨が降って危険 ・ 水浸しになる ● 洪水災害は大雨などで川の水が溢れたり、堤防が壊れて川の水が溢れ、町中が水浸しになってしまったり、山崩れなどで家が壊れたり、道路が壊れたり、田畑が壊れたり、など様々な被害が起きます。また、山崩れなどで家が壊れたり、道路が壊れたり、田畑が壊れたり、など様々な被害が起きます。	◆ 洪水災害の基本知識について確認する。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
H21出水の記録を入れると良い			
	6-7	● 【写真提示：地域で発生した洪水災害の紹介】 例：平成__年(みんなが__年生の時)、この地域でもこんな洪水災害が起きました。 ● 今日、この地域での種類と対策について勉強していきましょう。	◆ 災害当時の児童らの学年、年齢を提示して、思い起こしやすくする。
1-③ 学習のねらいを伝える。	8	● 今日、この地域での種類と対策について勉強していきましょう。	
展開 計32分			
2.洪水災害の種類について知る			
2-① 洪水災害の種類があることを教える。	9-13	● まずは、洪水災害の種類について勉強していきたいです。 ● 洪水災害の種類は大きく分けて、 内水氾濫 と 外水氾濫 の2種類に分けられます。内水氾濫は、雨が降ると川の水が溢れ、町中が水浸しになる。外水氾濫は、川の水が溢れ、田畑が壊れたり、道路が壊れたり、など様々な被害が起きます。 ● 写真提示：地域で発生した洪水災害の紹介。例：平成__年(みんなが__年生の時)、この地域でもこんな洪水災害が起きました。	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 洪水災害の写真やイラストを提示して、種類が異なることを理解しやすくする。
神河橋の流出 学校前が水浸しの写真など			
2-② 内水氾濫と外水氾濫の違いを考えさせる。	14-19	● 「内水氾濫」と「外水氾濫」の2種類に分けられると言ったけれど、何が違うのかわかりません。写真を見て、考えてみましょう。 ● (外水氾濫は)川が溢れている。	◆ 2つの洪水災害を比べられるように、2種類を並べて見せる。 ◆ 2つの特徴を理解することで
※赤字部は学校の意見があった箇所			

神野小学校から意見をもらった授業の実施計画(一部)

【防災授業に対する学校の意見】

- ・ 地域で発生した洪水被害の写真などをスライド資料に反映して欲しい。

特に平成21年出水は大きな被害が出たが災害後に生まれた子供が就学年齢になり、在校生の多くも過去の水害を知らない状況になっている。

- ・ 児童向けの配布資料やスクリーンに映す資料は、文字を少なくしイラストや写真でイメージを持たせることが大事。

- ・ 河川管理者が充実した資料を持っているので、防災に関する知識やノウハウの提供を期待する。

- ・ 防災に関して、担任による授業が基本であるが、外部講師(河川管理者等)による講義の方が児童の印象に残るのではないかと考えている。

- ・ 授業だけでなく体験型学習も共同で実施したいと考えている。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947
姫路市北条1-250
TEL 079-282-8211

